

脱炭素先行地域ポータルサイトを開設しました！

～市有施設でのエネルギー使用状況の見える化、千葉大生による取材記事なども掲載～

千葉市では、国から選定されている「脱炭素先行地域」の取り組みについて、市民や脱炭素に関心のある事業者の皆さまに情報発信するポータルサイト「脱炭素先行地域 千葉市」を開設しましたので、お知らせします。

サイト内では、脱炭素先行地域における主な事業の概要に加えて、エリア・エネルギー・マネジメント・システム（以下、「AEMS」）が収集した市有施設の電力使用量・電源構成を表示する「エネルギー見晴らしマップ」や、官民連携コンソーシアムの会員紹介、千葉大学環境ISO学生委員会によるAEMSの取材記事などを掲載しています。

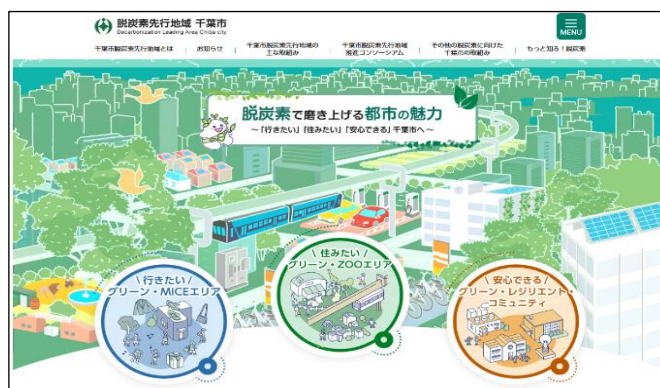
1 開設日

令和8年4月30日（木）

2 公開ページ

・サイト名 脱炭素先行地域 千葉市

・【URL】 <https://www.city.chiba.jp/decarbonizationleadingarea/>



脱炭素先行地域ポータルサイト トップページ

3 主な掲載コンテンツ

メニュー名	主な掲載コンテンツ
脱炭素先行地域とは	脱炭素先行地域の概要 ※「安心できる～グリーン・レジリエント・コミュニティ」内に「エネルギー見晴らしマップ」を掲載
脱炭素先行地域の主な取り組み	脱炭素先行地域における主な事業の概要
脱炭素先行地域推進コンソーシアム	コンソーシアム会員の紹介など
その他の脱炭素に向けた取り組み	市民・市内事業者向けの支援制度など
もっと知る！脱炭素	千葉大学環境ISO学生委員会によるAEMSの取材記事、啓発動画など

<参考>

1 脱炭素先行地域について

脱炭素先行地域とは、2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（家庭部門および業務その他部門）の電力消費に伴うCO₂排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかのCO₂排出の削減についても、我が国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現するため、環境省が指定する地域です。

2025年度までに少なくとも100カ所の地域が選定されることになっており、2026年2月の第7回選定で12提案（合計102地域）が選定され、募集を終了しています。本市は2022年11月に、県内で初めて選定されています。



2 AEMSについて

東京電力ホールディングス株式会社と構築し、令和8年4月より運用を開始した市有施設の電力需給を一元管理するシステムで、電力需給を一元管理する施設の種類、数において、自治体独自のシステムとしては国内最大規模となります。

主な機能としては、市有施設における使用電力量・発電量・蓄電量に係るデータの収集・管理と「エネルギー見晴らしマップ」での公開、電力需要予測、自己託送計画自動策定、蓄電池制御を実装しています。

需要予測には東京電力ホールディングス株式会社が開発したAI深層学習予測モデルが使用されており、予測精度を継続的に向上します。

3 千葉大学環境ISO学生委員会について

千葉大学の環境マネジメントシステム（以下、「EMS」）を運営する公的な委員会として2003年に発足し、1～3年生の約200名が所属。大学がEMSを運用するうえで必要な業務に加え、学内・地域の環境改善や、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けたさまざまな活動を学生主体で実施しています。

4 エネルギー見晴らしマップについて

AEMSが収集した市有施設の電力使用量・電源構成を視覚的にわかりやすい形式で表示するインターネットサイトです。なお、スマートフォンでの表示に対応していないため、PCからの閲覧を推奨しています。

【URL】 https://www.aems.tepco.co.jp/chiba_city/



エネルギー見晴らしマップ トップページ